

# 第6学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 美しい日本の風景を思い浮かべながら歌おう
- 2 教材 「ふるさと」(組曲「ふるさとの風景」)(「おぼろ月夜」「われは海の子」「もみじ」「スキーの歌」既習)
- 3 指導に当たっての考え方

教材分析	
<p>楽曲「ふるさと」は、遠い故郷を強く思う気持ちを三部合唱で歌った文部省唱歌である。 特徴的な要素は以下の通りである。 歌詞：「故郷」を思い出している1番、「故郷」にいる父母、友人を懐かしむ2番、故郷へいつか凱旋しようと、思いを強くする3番 和声：第1・2フレーズは二声で3度から5度の響き、第3フレーズに追いかける動きがあり、第4フレーズは三声で響かせる。</p>	<p>旋律：自然上行、下行で流れるような旋律。第3フレーズは一つの言葉を二音で表現し、揺れるような柔らかさが表現される。 また、他4楽曲は共通教材であるが、季節、調、拍子、速さに変化があり、組曲「ふるさとの風景」として歌うことで、楽曲に歌い込まれている美しい日本の風景や四季の移り変わりを感じさせることができるとともに曲想の変化をよりはっきりととらえて創造的にそれぞれの楽曲に歌い方を表現しようとする事ができると考える。 以上のような教材であるので、それぞれに歌い込まれている美しい日本の風景を思い浮かべながら表現を味わうことができる題材である。</p>

- 児童の実態**
- 合唱を好み、音の重なる楽しさ・美しさを感じ始めている。組曲としてつないで表現した経験はない。
  - 歌詞の表す情景や気持ちを考えながら歌おうとする子も増えてきているが、教師側から投げかけるまで気付かない子も多い。それぞれの楽曲の持ち味を感じ取りながら表現に生かす経験を積ませたい。
  - 響きのある声で歌いたいという願いをもっている。合唱の響きを感じて学年で歌い合う経験は多いが、互いに聴き合いながら学年全体で表現を練り上げて歌う機会は少ない。

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<p><b>曲想や楽曲の特徴を聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「唱歌の四季」を映像と共に聴く活動</li> <li>○ 曲想をとらえるために「ふるさと」を聴く活動</li> <li>○ 楽譜上での音の重なり方の確認</li> <li>○ 歌詞の意味</li> <li>○ 作曲者・作詞者について</li> <li>○ 組曲として歌う既習曲の確認と構成</li> </ul>	<p><b>つかむ</b></p> <p>歌い継がれた日本の歌っていいな。「ふるさと」が歌えるようになり自分たちも日本の歌を組曲で歌いたい。ふるさとの歌詞に込められた思いを歌い表したい。</p>	<p>歌い継がれた唱歌のよさを感じ取りながら歌詞に込められた思いを感じ取りながら「ふるさと」を三部合唱で歌うこと。次時表現への具体的な思いをもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の歌が歌い継がれていること</li> <li>○ 故郷を懐かしむ歌であること</li> <li>○ 1, 2, 3番の歌詞の意味を知ること</li> <li>○ 聴唱や視唱で歌うこと</li> <li>○ 既習曲を組曲として表すこと</li> </ul>
<p><b>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強弱・速さ・唱法の聴き比べ</li> <li>○ 思いと表現をつないだ聴き比べ</li> <li>○ 表現の聴き比べと練り上げ</li> <li>○ 歌詞の朗読</li> <li>○ 旋律線のなぞり</li> <li>○ 音楽ノートの活用</li> </ul>	<p><b>深める</b></p> <p>第3フレーズは旋律の流れに沿ってクレッシェンドしたい。2番は語るように歌いたい。3番は力強くマルカート気味に歌いたい。</p>	<p>聴き比べをしたり、旋律線や和声の重なりの様子に気付くことで、表現への思いをもち歌い方を工夫すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旋律の動きにあった強弱をつけること</li> <li>○ 歌詞の表す気持ちを想像して歌い方を变化させて歌うこと</li> <li>○ 和声の響きを感じる</li> </ul>
<p><b>思いをこめた表現を味わい音楽のよさを感じ取るための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループ内の演奏の聴き合い・相互評価</li> <li>○ グループ間の演奏の聴き合い・相互評価と練り上げ</li> <li>○ 組曲を歌い、聴き合い練り上げる活動</li> <li>○ 本題材の学習の振り返り</li> </ul>	<p><b>味わう</b></p> <p>「ふるさと」で学んだことを生かして工夫したい。組曲「ふるさとの風景」が素敵な曲になったな。合唱の響きっていいな。</p>	<p>歌詞の表す情景や気持ちを速さや唱法を工夫して歌うという「ふるさと」で学習した内容を、組曲「ふるさとの風景」に生かして工夫して表現し、楽曲のよさを味わいながら歌いつなげること</p> <p>練り上げた表現で組曲の描く日本の風景・情景の美しさ、楽曲の美しさ、表現のよさを感じ取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽曲の構成や演奏形態を工夫したよさを感じて歌うこと</li> <li>○ 歌詞の表す情景を想像して歌うこと</li> <li>○ 組曲としての表現のよさを感じ取る</li> <li>○ 声を合わせて歌う喜びを感じる</li> </ul>

- 題材目標**
- 季節や自然の美しさを表現した日本の唱歌のよさに気付いて主体的に表現しようとしている。(関心・意欲・態度)
  - 旋律の流れや音の重なり方、歌詞の表す情景や気持ちを感じながら、強弱や音の響き、言葉のまとまりを意識して表現することができる。(感受・表現の工夫)
  - 響きのある自然で無理のない声で声の重なりを感じながら歌うことができる。(表現の技能)

4 指導計画(3時間)

	つかむ①	深める①	深める・味わう① (本時)
ね ら い	楽曲を聴くことで日本のふるさとの情景の美しさを感じたり、楽曲「ふるさと」に込められた思いを感じ取りながら表現への思いをもつことができる。	「ふるさと」の旋律の動きや音の重なりを感じたり、歌詞の表す情景や気持ちを想像したりして歌い方を工夫して表現することができる。	組曲「ふるさとの風景」の表現を工夫して歌い、組曲に歌い込まれる美しい日本の風景を思い浮かべて歌い味わうことができる。
指 導 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 曲想をつかむこと</li> <li>○ 三部合唱で歌うこと</li> <li>◎ 歌詞や旋律から情景や思いを感じ取ること</li> <li>○ 表現への思いをもつこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 旋律の動きや歌詞の表す気持ちを感じて強弱の工夫や歌い方の工夫をすること</li> <li>○ 思いに沿った表現ができるように発声や発音、声の響きに気を付けて歌うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組曲の中で歌う「ふるさと」の表現を工夫すること</li> <li>◎ 5曲を通して合唱することで組曲として表現する楽しさや美しさを感じ取ること</li> </ul>
主 な 学 習 活 動 と 内 容	<p>1 組曲「唱歌の四季」や楽曲「ふるさと」に出会い本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 組曲「唱歌の四季」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美しい日本の風景や人々の思いを歌った歌い継がれている歌であること</li> </ul> <p>(2) 楽曲「ふるさと」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 故郷を懐かしむ歌であること</li> </ul> <p style="text-align: center;">【聴く活動①】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ふるさと」を学習し、歌い継がれている美しい日本の風景を組曲「ふるさとの風景」にして合唱して表現しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちの組曲について話し合うこと</li> </ul> <p>2 歌詞に込められた思いを感じながら「ふるさと」を三部合唱で歌う。</p> <p>(1) 範唱 CD にあわせて斉唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞を正しく覚えること</li> <li>○ 歌詞の意味や作曲家・作詞者について知る。</li> <li>○ つがなしや→無事であるか等</li> <li>○ 高野辰之、岡野貞一について</li> </ul> <p>(3) 三部合唱をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中・低音部の音をとること</li> </ul> <p>3 本時学習のまとめとして歌い次時学習への思いをもつ。</p> <p style="text-align: center;">【聴く活動②】</p> <p>(1) まとめとして歌い、本時学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三部合唱を確かに行うこと</li> <li>○ 1, 2, 3 番の歌詞に込められた思いがあること</li> </ul> <p>(2) 次時学習への思いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1, 2, 3 番に込められた思いを工夫して歌うこと</li> <li>○ 旋律の流れを感じながら工夫して歌うこと</li> </ul>	<p>1 前時学習をふり返りながら本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 前時学習を想起しながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三部合唱で歌うこと</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ふるさと」に込められた気持ちが表現できるように歌い方を工夫しよう。</p> </div> <p>2 思いが伝わるように歌い方の工夫をすること</p> <p>(1) 旋律線をなぞり、旋律の動きをとらえ、強弱の工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然なクレッシェンド</li> <li>○ 第3, 4フレーズの強弱の工夫</li> </ul> <p>(2) 1, 2, 3 番に込められた思いを発表すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 番思い出, 2 番父母友人への思い, 3 番ふるさとへの強い思い</li> </ul> <p>(3) 1, 2, 3 番に合う歌い方の工夫をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌い比べ, 聴き比べすること</li> </ul> <p style="text-align: center;">【聴く活動③】</p> <p>3 本時学習のまとめとして歌い次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) 工夫した表現の三部合唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強弱の工夫</li> <li>○ 歌い方の工夫</li> </ul> <p>(2) 本時学習をふり返り、次時学習への思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旋律の動きや歌詞の表す気持ちを想像し、強弱や歌い方を工夫するとよりよい表現になったこと</li> <li>○ 次時は組曲にして完成させること</li> </ul>	<p>1 前時学習をふり返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 組曲「ふるさとの風景」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までに考えた構成で歌うこと</li> </ul> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組曲「ふるさとの風景」のはじまりや終わりの部分を工夫して表現すること</li> <li>○ 季節や風景を思い浮かべて歌うこと</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ふるさとへの思い, 美しい日本の季節や自然の風景の移り変わりを思い浮かべながら歌い味わおう。</p> </div> <p>2 組曲「ふるさとの風景」の表現の仕方を工夫すること</p> <p>(1) 2つのグループに分かれて表現を工夫すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじまりの部分の表現を工夫すること</li> <li>○ 終わりの部分の表現を工夫すること</li> </ul> <p>(2) 工夫した表現で歌い、相互評価活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いと表現をつないで歌うこと</li> <li>○ 相互評価で練り上げること</li> <li>○ 思いを実現する表現ができるように技術的指導で表現を高めること</li> </ul> <p>(3) 組曲「ふるさとの風景」の全体の構成を練り上げる。</p> <p>3 題材のまとめとして歌い、組曲のよさ, 合唱の響きのよさ, 創り上げた表現のよさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己・相互評価しながら歌うこと</li> <li>○ 題材の振り返りを行うこと</li> </ul> <p style="text-align: center;">【聴く活動④】</p>

5 本時 深める・味わう段階（3／3）

6 本時の目標

組曲「ふるさとの風景」として「おぼろ月夜」「われは海の子」「もみじ」「スキーの歌」「ふるさと」をつないで歌い、組曲のはじまりや終わりの部分の表現を工夫することができる。また、ふるさとへの思いや美しい日本の季節や自然の移りを思い浮かべて心を合わせて歌い味わうことができる。

- 7 準備 教師：拡大楽譜 縦書き歌詞 自動伴奏オルガン 情景写真  
 児童：音楽ノート

8 本時指導の考え方

本時は、ふるさとへの思いや美しい日本の季節を歌うために構成した組曲「ふるさとの風景」のはじまりや終わりの部分の表現を工夫すること、ふるさとへの思いを感じたり日本の美しい季節や自然の風景の移り変わりを思い浮かべたりしながら組曲「ふるさとの風景」を歌い味わうことが主なねらいである。なお、組曲「ふるさとの風景」は、『ふるさとの思い出に始まり、美しいふるさとの四季や風景、ふるさとに残した父母らに思いをはせ、いっそう強くふるさとを思う』という構成で組曲にしている。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、組曲「ふるさとの風景」を歌い本時学習のめあてを確認させる。そのために
  - ① 組曲「ふるさとの風景」を歌う。「ふるさとの風景」は「ふるさと1番」「おぼろ月夜」「われは海の子」「もみじ」「スキーの歌」「ふるさと2, 3番」で構成されている。「ふるさと」は前時までに工夫した表現を、その他の曲は拍やフレーズの流れをそろえて歌うことができるように指揮をする。
  - ② 前時の終わりにもった「組曲のはじめと終わりの部分を工夫して、ふるさとへの思い、美しい日本の季節や自然の風景の移り変わりを思い浮かべながら歌い味わおう。」というめあてを確認するために板書をもとに組曲の構成を考えたときの思いを確認する。
- 次に2グループに分かれて組曲としての表現を工夫させる。そのために、
  - ① 合唱のパートの人数の配分に配慮しつつも、児童の希望をもとにして組曲の曲のはじまりの部分を工夫して表現するグループと、終わりの部分を工夫して表現するグループに分かれる。このとき教師はT1, T2に分かれ、それぞれのグループを指導する。
  - ② 各グループで、工夫を話し合わせる。教師は、「ふるさと」で学習した内容の「歌詞の表す気持ちから1, 2, 3番の歌い方や強弱を変えたこと」「歌うときに気持ちを込めたため、歌う表情も変わっていたこと」さらに、これまでの学習経験等も思い出させ、それぞれのグループで出てきた意見を歌い比べ聞き比べながら確かめさせ進行する。また、子どもの思いに沿うような表現になるように、技術的な指導をしたり拡大楽譜に書き込んだりして確かめていく。
- さらに、グループで工夫した表現を発表し合い、互いのよさを話し合わせ、それぞれのよさを取り入れた表現を行わせる。そのために、
  - ① それぞれのグループで工夫した表現を発表させる。このときには、「はじめの部分は、静かに思い出を振り返るように、はじめの2フレーズを少人数で歌いました。」のように、思いと工夫した表現をつないで発表させてから歌わせる。もう一方のグループは思いがうまく表現されているかという点で聞き合い相互評価活動を行い、よさや不十分さを伝え合う。不十分な点は教師と一緒に練り上げていく。
  - ② 互いのよさを取り込みながら全体の表現に練り上げる。
- 最後に、曲のもつ味わい、組曲で表すよさ、合唱の響きや創り上げた表現のよさを味わうことができるように組曲を通して歌う。その時に、一度歌った後に自己・相互評価を述べ合いながら表現を練り上げて、組曲としての表現を高め、仕上げの表現にする。

仕上げの表現の時には、組曲のよさをより表現することができるように、情景画を提示してその世界に浸らせながら演奏できるようにする。

【聴く活動④】

【聴く活動④】について

ねらい	手だて	期待する子どもの姿
創り上げた表現を歌い上げ、それぞれの曲のもつよさを味わいながら組曲で歌い表す美しさ、楽しさを感じることができる。表現への満足感、達成感、充実感をもたせることができるようにする。	・情景の写真とともに組曲を歌い、美しい日本の風景に浸りながら歌うことができるようにする。 ・教師は組曲としての工夫した表現ができるように指揮をしてまとめていく。 ・感想をもとにしながら、学習の振り返りをさせたり、教師からの評価を聞いたりする。このとき教師は、表現のよさ、工夫のよさ、学び方のよさについても賞賛する。	・ふるさとの風景を豊かに表現できたな。 ・曲のよさをとらえてその曲に合う表現の仕方をしながら組曲として歌うことで美しい日本の風景やふるさとに込める思いをより表現することができた。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p><b>1 組曲「ふるさとの風景」を歌い、本時学習のめあてについて話し合う。</b></p> <p>(1) 前時までの学習を思い出しながら組曲「ふるさとの風景」を歌う。</p> <p>○ 「ふるさとの1番」「おぼろ月夜」「われは海の子」「もみじ」「スキーの歌」「ふるさとの2、3番」をつないで歌うこと</p> <p>(2) 組曲への思いを確認して本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ふるさとへの思いや美しい日本の季節や自然の風景の移り変わりを思い浮かべながら歌い味わおう。</p> </div> <p>○ はじまりの部分と終わりの部分を工夫すること ○ 組曲全体の構成の表現を練り上げること</p> <p><b>2 グループに分かれ、組曲としての表現の工夫をする。</b></p> <p>(1) 組曲「ふるさとの風景」の表現の工夫を、組曲のはじめの部分の表現を工夫するグループと、終わりの部分の表現を工夫するグループに分かれて行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p> <b>T1 グループ</b> 例： 「『組曲』のはじまりだから、ふるさとを思い出す感じで、声を重ねて歌いたいな。」</p> <p>○ 声の大きさ ○ 声の重なり</p> <p> 例： 「思い出を歌う場面だから、静かにはじめたいな。重唱で歌い始めたらどうかな。」</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p> <b>T2 グループ</b> 例： 「3番の終わりのところを、もっと力強く歌いたい。組曲の終わりという感じにしたい。」</p> <p>○ 唱法と強弱</p> <p> 例：「ふるさとの四季を思い出してふるさとへの思いが一番強くなるだろうから、終わりの部分を大切に歌いたい」</p> <p>○ 繰り返しの挿入</p> </div> </div>	